

市議会だより

おが

No.88
2025
令和7年11月1日
発行

8月臨時会
9月定例会



豊穣の秋 頭を垂れる稻穂



- 8月
- 26日 招集告示
議会運営委員会
 - 29日 議会全員協議会
- 9月
- 2日 本会議（※表決）
(議案上程)
 - 4日 本会議（一般質問）
 - 8日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
会派代表者会議
 - 9日 本会議（一般質問）

- 9月
- 10日 議会運営委員会
本会議（議案質疑）
予算特別委員会
 - 12日 決算特別委員会
 - 17日 常任委員会・分科会
 - 25日 予算特別委員会
議会運営委員会
本会議（表決）
会派代表者会議
- ※公営企業会計決算

記事内容

8月臨時会・9月定例会から	P 2～P 3
議案質疑	P 3
決算特別委員会	P 4～P 5
一般質問	P 6～P 10
予算特別委員会・常任委員会の動き	P 11
編集後記等	P 12



本をつなぐ、つながる、つなげたい
ちいき本棚
無料アプリ「SideBooks」
で「おが市議会だより」
がご覧になれます。



マチイロ
無料アプリ「マチイロ」
で「おが市議会だより」
を配信しています。



創設し環境美化を推進している。除雪については、地域の担当業者が出動基準に基づき実施しているほか、職員がパトロールを実施し路面状況の把握に努めている。また、アルコールチェックを含めた安全管理体制は、それぞれの事業者の下で適切に実施されているものと認識しており、私有地の除雪は、道路除雪の終了後に除雪車表示板等を外して実施するよう指導している。除雪シーズン前には委託業者が町内会からの意見・要望を伺う一方、除雪作業に対する地元の協力を依頼するなど、相互に情報共有を図っている。

答 県からは、デリネーター（視線誘導標）は冬期間の安全性に問題があり設置できないほか、側溝は緊急性が低く現時点では整備を考えていないと回答があつた。街灯等は鵜ノ崎地域の整備や活用法を考える中で検討していく結果は。

対象とした冷房装置の設置状況を含めた生活環境について、戸別訪問等の確認・調査を行っているか。答 生活保護・生活困窮世帯の方には、ケースワーカーや相談支援員が定期的に家庭訪問を実施するとともに、電話連絡・窓口対応などで健康状態を含めた生活状況を確認している。

質 現在、設置している「指定暑熱避難所」クリーリング・シェルターの使用状況は。また、さらに拡充していく考えはあるか。

答 市役所市民ホール、ハートピア、図書館談話コーナー、若美支

文書の簡素化、教員研修の厳選など、負担軽減に向けて不斷の見直しを行つてきており、一連の取組は一定の効果を上げている。

質 長期に病気休職している事象はあるか。原因の把握を含めた学校・教育委員会としてのフォロー・アップ体制は整つているか。

答 今年度は、教員1名がメンタルヘルスの不調による治療で病気休暇を取得したが、先般、復帰に至つている。また、長期休職後の復帰に向けては、復職プログラムに基づいて研修を行うなど、フォローアップ体制を整えている。

質 現行の施策を見直す必要性は「市内に就職する市在住の若者」や「雇用を継続している地元企業」に対する支援策の考えは。移住の検討段階から実際の移

おり、7月から9月までの2か月間で延べ182名が利用している。今後、利用者の意見を聞きながら施設の利便性向上等を検討していく。
また、指定施設以外にも、市内

質 独居高齢者の孤立防止と空き家対策を両立する新たな住まいの形「高齢者向けシェアハウス」の必要性と可能性をどう考えているのか。

答 高齢者の住環境整備は地域共生社会の実現に不可欠であり、関係団体等と連携し住み慣れた自宅や地域で安心して暮らせるよう各種支援を講じている。シェアハウスは経済的負担が少なく安心を得られる利点がある一方、プライバシー確保や入居者間トラブルなど課題も多く、入居者の準備負担や管理者の運営負担も伴う。空き家が増加傾向にあり持ち家率が高い本市の実情を踏まえ、今後、必要性と可能性を調査研究する。

誰にでも伝わる『ピクトグラム』の整備と災害時対応への活用について

質 市内における「ピクトグラム」の整備状況は。

「やさしい日本語」は講習会への参加等を通じ、防災・観光・福祉分野に応じた周知の仕組みを検討していく。避難所では常設ピクトグラム以外の表示も必要なため、誰もが迷わず安心して避難できる体制強化に取り組む。

太田 穂議員
(市民クラブ)

答 公共施設のほか民間の商業施設や観光施設等で相当程度整備が進み、利便性向上に寄与している。市民や外国人観光客の声を聞きながらさらなる充実に努める災害時、外国人や高齢者に対する「分かりやすい案内」の

日頃から密に連携を図っている。また、業務の受託状況や利用者の声についても把握している。

質 シルバー人材センターの活動が、より地域ニーズに応えらるようになるため、市としてどのように取り組みを深めていくのか。

質 跡地は、中心市街地で交通アクセスにも優れており、これほどの立地条件を備えた公共資産は、将来における男鹿市のまちづくりの基盤として極めて重要な位置を占めています。この跡地を単に余剰施設の処分とせず、将来世代のための投資として生かすことこそ、市政の責務であると考える。

答 市としては、公共的な利活用を考え方とは何か。

質 市としては、公共的な利活用について、現時点における市の基本的な考え方とは何か。

答 市としては、公共的な利活用を念頭に様々な観点から検討を進めたいと考えている。今年5月には県教育庁と一緒に同校を視察し校舎の現状を確認したほか、より具体的な活用策を模索すべく意見交換を行ったところである。

同校の校舎は昭和56年に建設されてから44年が経過し、活用にあたっては老朽箇所の改修が必要になつてくる。また、同校が位置する地域は都市計画法上の第一種中高層住居専用地域に指定されており、今年度は住宅管理の予算を増額して取り組んでいる。地域全体が安全で快適な住環境を維持できるよう努力していく。

答 市としては、公共的な利活用を念頭に様々な観点から検討を進めたいと考えている。今年5月には県教育庁と一緒に同校を視察し校舎の現状を確認したほか、より具体的な活用策を模索すべく意見交換を行ったところである。

同校の校舎は昭和56年に建設されてから44年が経過し、活用にあたっては老朽箇所の改修が必要になつてくる。また、同校が位置する地域は都市計画法上の第一種中高層住居専用地域に指定されており、今年度は住宅管理の予算を増額して取り組んでいる。地域全体が安全で快適な住環境を維持できるよう努力していく。

質 男鹿工業高校跡地利活用について



船木 正博 議員
(市民クラブ)

り、こうした立地状況や条件等を踏まえ、引き続き、県教育庁と協議を重ねるとともに、市民の皆様の声を反映させるため、適切なタイミングで意見を伺いながら可能な限り幅広く検討し、地域にとつて最も有効な活用策を見いだしていただきたいと考えている。

質 男鹿みなと市民病院の経営改善について

質 経営状況は年々厳しさを増しており、5年ぶりに資金不足も生じている。この純損失の主な要因はどこにあるのか。

答 延べ患者数や1日当たりの診療単価を令和5年度と比較す

ると、医業収益として入院で約1億5000万円、外来で約5000万円、合わせて約2億円の減収につながっている。

質 今後の病院経営改善に向けての対策はどうか。

答 経営改善に向けた当面の具体的な対策としては、まずは医業収益の増加を図るため、地域包括ケア病棟の効率的な運用や診療報酬改定を踏まえた診療単価の向上、入院日数の適正化等に努めていく。また、改善効果が薄れつつあるコスト削減取組を堅実な手順で実施していく。

質 今後の病院経営改善に向けての対策はどうか。

答 経営改善に向けた当面の具体的な対策としては、まずは医業収益の増加を図るため、地域包括ケア病

棟の効率的な運用や診療報酬改定を踏まえた診療単価の向上、入院日数の適正化等に努めていく。また、改善効果が薄れつつあるコスト削減取組を堅実な手順で実施していく。

質 農業支援対策について



安田健次郎 議員
(日本共产党)

り、こうした立地状況や条件等を踏まえ、引き続き、県教育庁と協議を重ねるとともに、市民の皆様の声を反映させるため、適切なタイミングで意見を伺いながら可能な限り幅広く検討し、地域にとつて最も有効な活用策を見いだしていただきたいと考えている。

質 今夏の農作物被害に対しても何らかの支援が必要ではないか。

質 取量や品質に及ぼす影響や経営に与える影響を見極め、必要な支援を検討していく。

質 人口減少対策として、新規の就業移住などの取組を強化するべきではないか。

質 人口減少対策として、新規の就業移住などの取組を強化するべきではないか。</



10月14日、男鹿市議会自衛隊協力会員が航空自衛隊秋田分屯基地秋田救難隊の視察を行いました。

基地概要や航空機、救難装備品等の説明を受け、東北日本海側の航空救難態勢など自衛隊への理解を深めるとともに、防衛意識の向上を図りました。



秋の全国交通安全運動期間中の9月26日、交通安全に対する意識高揚と啓発を目的に、議員クラブ役員が市内の保育園を訪問し、園児たちに交通事故防止を呼びかける啓発グッズを配布しました。



~まちの未来が見える~

議会傍聴においてください

9月定例会は傍聴者延べ50人「次は12月定例会」

傍聴規則を改正!

時代の経過とともに「最近では一般的に使用されない語句」や「制定・改正時の社会情勢を反映した規定」を改めました。



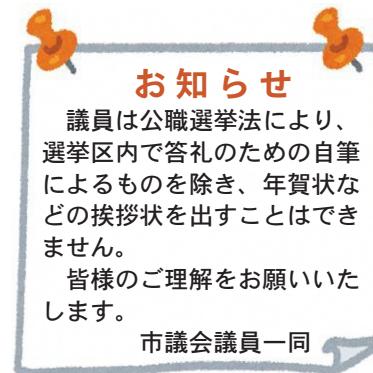
▲詳細はこちらから



11月 25日 招集告示
議会運営委員会

12月 18日 予算特別委員会
議会運営委員会
本会議（表決）

2日 本会議（議案上程）
4日 本会議（一般質問）
5日 本会議（一般質問）
8日 本会議（一般質問）
9日 本会議（議案質疑）
予算特別委員会
10日 予算特別委員会
11日 常任委員会・分科会
12日 常任委員会・分科会



編集後記



爽やかな秋に季節の移ろいを感じるこの頃となりました。9月定例会では、夏の猛暑や渇水による影響が懸念された農作物の生育状況や、夏のイベントの活況等が報告されたほか、赤字が続くみなと市民病院の経営や、今後収支の赤字が見込まれる一般会計の見通しなど多様な課題について議論が交わされました。

（田井 博之）

人口減少や財政の健全化といった構造的な課題に直面する中、今こそ「選択と集中」に焦点を絞ることが必要であり、今後も次世代へつながる活発な議論を目指していきます。

議会活動に際しては、市民生活に直結する課題が多く、議会だよりを通じて、より身近に感じていただけたら幸いです。今後も分かりやすく丁寧な発信を心がけていきます。